

科目コード	S14202	科目名	心理測定法				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	西村 祐一						
授業の概要	本授業では、心理学の研究において必要な統計の基礎的な事項を勉強してもらいます。統計で扱われる尺度、心理学以前の歴史で使われてきた測定方法、実験の様々な方法、そして、コンピュータを使った統計の基礎的な演習も行います。国家試験で頻出される用語についても重点的におさえていきます。						
DPとの関連	人間を広い領域から捉え、人を愛する心と専門技術を統合できる能力を身につける						
	言語聴覚障害学について深い専門的知識を修得し、それを臨床において適切に応用することができる能力を身につける						
	職務遂行に必要な社会性、倫理観、専門職業人としての自覚を身に付け、多様な患者、家族、医療・福祉関係者等と円滑なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける						
	複雑で多様な障害について常に科学的に探究する姿勢をもち、積極的に自己研鑽し続ける能力を身につける						
到達目標	DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）= 修了までに身に付けるべき資質・能力 心理測定法に関する各キーワードを説明できるようになる。						
履修上の注意事項	授業中の私語、スマホなどの使用は禁止します。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	オリエンテーション、心理物理学的測定法1：閾値、弁別閾、主観的等価点 心理物理学的測定法の種類			・事前：教科書 p.88-81 (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
	2	尺度水準、誤差 信号検出理論			・事前：教科書 p.88-90、96を読む (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
	3	テスト理論：妥当性と信頼性			・事前：教科書 p.98-102を読む (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
	4	尺度構成法：評定法、順位法、一対比較法、SD法など			・事前：教科書 p.102-105を読む (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
	5	調査法：質問紙法 サンプリング			・事前：教科書 p.105-108を読む (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
	6	データ解析法：記述統計と推測統計、統計的仮説検定			・事前：教科書 p.109-110を読む (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
	7	データ解析法：多変量解析			・事前：教科書 p.110-113を読む (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
	8	データ解析法：多変量解析			・事前：教科書 p.110-113を読む (120分) ・事後：レジュメを読む、当該の国試の過去問を解く (120分)		
成績評価方法	期末試験 100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	言語聴覚士のための心理学 第2版 【山田弘幸（編）】（医歯薬出版）					978-4-263-26632-6	
参考書	言語聴覚士テキスト 第4版 【大森孝一・永井知代子・深浦順一・渡邊修（編）】（医歯薬出版）					978-4-263-26690-8	
教員からのメッセージ	基本的に配布資料と教科書で進めます。						
教員との連絡方法	学内メールをお願いします。						
実務経験のある教員	統計学や心理学系の講義経験のある言語聴覚士の教員が指導経験を生かして講義します。						